

平成30年度 事業報告書 計2頁

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

1. 事業の成果

前々年度事業報告書に記載の各項目に関して、引き続き前年度も、老化防御医科学とその関連する健康情報啓発の内容充実と発展に努めて継続遂行してきたが、その若干例として、①当NPO法人がスポンサーとして放映する健康情報テレビ番組が三羽信比古理事長の出演解説によって京阪滋圏TV(今後名古屋・岐阜圏TVも)で本年4月5日より13話連続で放映されている、②三羽理事長の著書「水素の健康・美容力」が一般人への健康情報啓発書として本年3月5日に発刊された、③当NPO法人のホームページが、三羽智彦参事の制作で新たに移転再開設された。さらに老化防御医科学の研究・業務に関連して28件の奨学研究振興金、総額321万円余りを大学・各研究者に贈呈支給した。当法人の研究実績については、老化防御医科学の一環として、水素水による乳がん・肺がん・大腸がん各マーカーと脳MRIへの改善効果を見出した。本年度も従来の活動に引き続き、国民の生命健康に直結する「老化/がん防御」の立場から社会貢献すべく活発に活動してきた。

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名(該当する主な定款記載箇所)	事業内容	実施日時場所	従事者数	受益対象者範囲・人数	支出額
各種の広報のためのベースとなる老化防御医科学に関する情報を調査する事業(老化防御研究技術調査)定款第5条①	老化防御を実践すべく脳心臓血管障害・がん・肌トラブルへの水素風呂・水素飲水による防御、水素ガス吸入による放射線障害防護、メタボ疾患への水素吸蔵シリカ微粒子の抑制効果、および、人体への安全性徹底として水素電解生成におけるオゾン・塩素・過剰酸素の排除。	毎月第3土曜 14-17時、理事宅等	3名 ネット対応も	老化・がん防御情報入手希望者、延べ12名	0
老化防御を実践するための日常生活実践プログラムを公開する事業(老化防御生活プログラム作成)定款第5条②	老化防御を生活上で実用化する上で、水素吸蔵シリカ微粒子の性能として、水素発生の上立りと持続性・唾液の酸化還元電位への影響など、水素の免疫力増強の臨床効果を裏付ける老化防御啓発活動「抗がん・老化防御効果と水素水」、「健康長寿・美肌と水素水」は当法人設立より一貫注力し、生活プログラム提案を目指している。	各半期 第1日曜 14-17時 代表理事宅等	2名 ネット対応も	老化・がん防御実践プログラム希望者、延べ11名	0
老化防御医科学に関する一般人からの質問に対する回答を作成する事業(老化防御に関する相談業務)定款第5条③	水素による悪玉/善玉の活性酸素への影響差異、水素ガス吸入・水素風呂・アトピー性皮膚炎・水素飲水・水素包含シリカ・皮膚老化などに関する実生活や製品効能の質問を健康食品・理美容機器・医薬各メーカーなどから受け、学術調査・製品分析した上で回答した。	受付随時 回答17-23時、理事宅等	2名 ネット対応も	老化・がん防御の質問者(延べ31名/機関)	0
医薬、健康食品、美容品などを独自に調査試験して、注意喚起などを提案して改善を促す事業(製品調査・試験評価)定款第5条④	健康サプリが水素電解生成器、美容機器・抗老化・体脂肪燃焼・コラーゲン構築を謳って販売されているが、消費者の有益性と安全性とのバランスに配慮し、水素風呂と金属アレルギーも評価した。	随時、代表理事宅と各企業	2名	健康食品の関連企業、延べ13名	0
老化防御医科学を志す学生及び研究者へ奨学金及び研究奨励金を貸与または給付する事業(奨学研究振興金の贈呈)定款第5条⑥	老化防御医科学に携わる研究/業務へ奨学研究振興金として延べ28件、3,464,331円を贈呈した。内訳は、水素風呂[血中抗酸化力]・阿膠エキス・オゾンうがい・大豆放線菌発酵物・スチームヘアアイロンなどの老化防御素材・弊NPO法人事務業務・同ホームページ制作が対象。	研究試験 委託書の 交付とメ ール交信	2名	日本歯科大学・講師・助教など10名	346万 4,331 円
日常生活実践プログラムに関して講演や出版などの広報活動を行う事業(学会・健康関連への貢献)定款第5条⑤	日本水素水振興協会・一般社団法人水素医療研究所・水の科学研究会は、いずれも水素の人体への有益効果に注力しているので、当法人として老化防御医科学の立場から連携し、研究開発・学術広報・啓発活動の実施支援・協賛を行なって、各研究機関へ貢献した。	年度半期末など。 当該学会事務局等	2名	当該研究所・学会関係者など15名	0
日常生活実践プログラムに関して講演や出版などの広報活動を行う事業(当法人ホームページの移転と拡充)定款第5条⑤	従来より当NPO法人が開設してきたホームページが、運営サイトの都合で有償化すると通告を受け、IT企業でIT業務に携わる三羽智彦参事がリニューアル移転して再開設した: URL: <vitamin2002rejuvenation.Amebaownd.com/> -> ①水素健康法を分かりやすく解説:計6話、②ビタミンC健康5か条、③ビタミンPを含む健康食材としてのピーマンの摂取法、④基底膜を標的にした温度シフトダウン効果とは?	PCホームページ制作サイト	2名	老化・がんに関心ある一般人	0
日常生活実践プログラムに関して講演や	広く一般人への健康情報を発信すべく、京阪滋圏ローカルTV(今後、名古屋・岐阜圏TVも)にて、当NPO法人がス	西梅田タワーシテ	8名	京阪滋・名古屋岐阜	0

出版などの広報活動を行う事業(健康研究TV番組の提供)定款第5条⑤	ポンサー「支払は(一社)日本先端医療財団」として健康情報テレビ番組の第1回が本年4月5日より開始され毎週連続で計13話を放映中。毎回、三羽信比古理事長が出演し、がん・糖尿病・アトピー・老化・心脳血管疾患・床ずれ・認知症・突然死などと水素健康法について解説している。	イでTVビデオ撮影		圏テレビ視聴者	
日常生活実践プログラムに関して講演や出版などの広報活動を行う事業(一般人向け健康啓発書籍)定款第5条⑤	健康情報啓発書として三羽理事長の著書「水素の健康・美容力」が本年3月5日に発刊された。アマゾンでも「栄養書庫」で入力すると検索できる。当NPO法人の標榜する一般人向け健康啓発に沿って、従来書よりも写真データ満載でビジュアル訴求し分かりやすく解説している。	3時間/日、代表理事宅など	3名	全国書籍購入者・健康産業企業	0
各種の広報のためのベースとなる老化防御医学に関する情報を調査する事業(当法人の調査研究拠点確保)定款第5条①	老化防御医学と水素医療美容科学の領域内では、学術面だけでなく実生活に直結する面が不可欠であり、当法人が継続活動してきたが、その拠点として、10年来の広島県下での活動の他に、業務拡大として大阪府下でも重要性が増しているため、活動範囲を拡充している。	H25~30年度法人内部署	3名	当法人関係者3名	0
定款第5条記載の各事業を支える当法人の組織と運営について(当NPO法人定款における一部改訂)定款第13条・第14条・第20条	前年度の当NPO法人総会にて、定款の一部改訂が諮られて決議されたが、広島県庁の県民活動課NPO担当より、その他を含めて定款改訂を指示して、その結果、県知事からの認証を取得した。主な改訂は下記の通りである:①第4章 役員及び職員(種別及び定数)第13条 この法人に次の役員を置く。理事 4人以上、5人以下。②第14条 理事及び監事は、総会において次の順序で選任する。参事(同第20条)責務を4年以上または最長期間に及んで果たしてきた参事。③第14条2 理事長及び副理事長は、理事の互選によって選任し、理事長は、法人事業(定款第5条)を執行してきた実績と共に、当該事業を執行する為に必要な運転資金を獲得して、この法人に最も顕著に供与してきた実績を果たしてきた理事を選任することとする。④(職員)第20条 この法人に、事務局長1名、参事6名、事務局員若干名、その他の職員を置くことができる。	代表理事・監事と広島県庁県民活動課NPO担当…メール電話交信約20回	3名	当NPO法人関係者約20名	0
定款第5条記載の各事業を支える当法人の組織と運営について(当法人事務局の事務業務量の増大への対応)	当法人の事務業務量は平成23~28年度に急増し、事務局員1名への業務負担が増大した。当法人総会の決議「当法人事務局の執行業務実績」などに基づき、月額1.5~2.0万円(実績1.5万円に抑制)の事務業務手当て対応。その増加業務は下記の通り:①郵便・宅配便・銀行振込の手続き(年間30件以上と急増)、②研究機材費の伝票整理と業者支払(年間28件)、③当法人預金通帳への入出金管理、④奨学研究振興金の贈呈準備・支払と受領証保管整理、⑤業務出張に関わる宿泊先手配・旅券手配・宿泊交通費の経理(年間約20件)、⑥研究材料購入・会議費などの出納と領収証保管整理、⑦大学などへの共同研究委託費と契約、⑧法人登記での追加手続きに関する広島県庁・法務局への問合せと書類作成・届出、⑨広島県北部県税事務所への法人県民税均等割の広島県知事承認の法人減免申請、⑩当法人預金の管理銀行への利子所得税の課税優遇措置申請など。	平成22~23年度当法人総会で決議済み。平成25~29年度随時	当法人総会での全員署名議事録	当法人事務局事務員1名	0

以上

平成30年度 特定非営利活動に係わる活動計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター


(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		2,000
2 受取研究委託金		4,395,240
3 その他の収益		603
経常収益計		4,397,843
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
奨学研究振興金・研究費	3,464,331	
その他の経費計	3,464,331	
事業費計		3,464,331
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
学会費	7,000	
登録証明代	932	
物品購入費	376,827	
交通費・宿泊費	301,242	
通信費・払込手数料	16,397	
事務費	0	
会議費	106,750	
その他経費計	809,148	
管理費計		809,148
経常費用計		4,273,479
当期正味財産増減額		124,364
前期繰越正味財産額		82,180,669
次期繰越正味財産額		82,305,033

上記の通り相違ありません。

平成 31 年 4 月 30 日

日本老化防御医科学センター 監事

山田 佐子 

平成30年度 特定非営利活動に係わる事業会計貸借対照表

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行	27,706,091	
普通預金広島銀行庄原支店	6,794,272	
三井住友銀行鳳支店	47,804,670	
	82,305,033	
流動資産合計		82,305,033
2 固定資産	0	
		0
資産合計		82,305,033
II 負債の部		
1 流動負債	0	
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	82,180,669	
当期正味財産増加額	124,364	
正味財産合計		82,305,033

平成30年度 特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成31年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本老化防御医科学センター

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
ゆうちょ銀行	27,706,091	
普通預金広島銀行庄原支店	6,794,272	
三井住友銀行鳳支店	47,804,670	
	82,305,033	
流動資産合計		82,305,033
2 固定資産	0	
		0
資産合計		82,305,033
II 負債の部		
1 流動負債	0	
2 固定負債	0	
負債合計		0
正味財産		82,305,033